



丸山ダムをバックに橋梁上部工工事現場にて

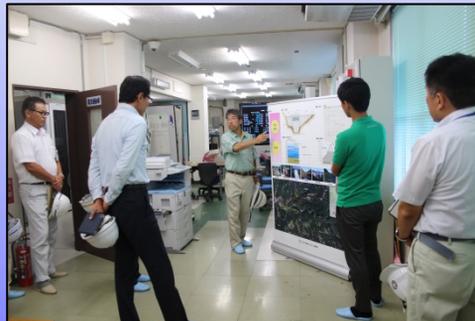
～ダム下流域の3市長が現地視察～

8月29日、藤井浩人美濃加茂市長・浅野健司各務原市長・尾関健治関市長に、新丸山ダム工事事務所および丸山ダム管理所の視察をしていただきました。

丸山ダム操作室では、美濃加茂市や坂祝町で大きな浸水被害が発生した昭和58年9月28日豪雨における丸山ダムのゲート操作状況とともに、丸山ダムの計画を越える戦後最大の洪水であったことを説明しました。新丸山ダムが完成した場合は、ダムの洪水調節によって、この58年9月洪水も、今渡地点で水位を約3.8m低下させることにより、洪水が堤防を越えることなく安全に流下することを説明しました。その後、丸山ダムの堤体内やダム天端から湖面を見学していただき、現在施工中の新小和沢橋橋梁上部工工事現場において、工事の概要説明を行いました。



新丸山ダム工事事務所にて事業概要説明



丸山ダム管理所のダム操作室



ダム堤体内の60周年メッセージボード



丸山ダム天端より下流を望む



橋梁上部工工事現場見学



橋梁上部工工事説明